

平成 24 年度 健康診断結果の概説

I. 一般検査項目について

16) 子宮頸がん検診([図表 J1-8-17](#))

受診者数: 13,522 人

有所見率: 1.2%

有所見率は 30 歳台前半を頂点として若年層で高く、その後は 40 歳台前半まで減少し、40 歳台後半には少し上昇します。子宮がんは 30 歳台から 50 歳台にかけて多発するといわれていますが、がんよりも出現頻度が高い子宮腔部びらんなどの炎症性変化が、有所見率を押し上げていると考えられます。